

# 【 令和7年度第2回 高松圏域自立支援協議会全体会 】

日時 令和7年11月10日(月) 10:00~12:00

場所 かがわ総合リハビリテーション福祉センター第1・第2研修室

## I. 開会

## II. 各部会活動報告

(敬称略/100分間程度(各部会5分間×14報告+質疑応答30分間) /資料 1p-33p)

- ①就労支援部会) ヒトトコ
- ②精神保健福祉部会) 障害者地域生活支援センターほっと
- ③相談支援事業所部会) 相談支援事業所ライブサポートセンター
- ④身体障害者支援部会) 障害者生活支援センターたかまつ
- ⑤知的障害者支援部会) 地域生活支援センターこだま
- ⑥発達障害部会) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点
- ⑦こども部会) 障害者生活支援センターあい
- ⑧医療的ケア部会) 一般社団法人 garyu
- ⑨居宅サービス事業所部会) 自立ケアシステム香川
- ⑩当事者団体・家族会部会) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点
- ⑪B型事業所部会) 社会福祉法人ナザレの村
- ⑫権利擁護部会) 一般社団法人ええる福祉会
- ⑬グループホーム部会) 特定非営利活動法人アイルコート
- ⑭事務局) 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点:  
・質疑応答

## III. 香川県自立支援協議会報告(敬称略/10分間程度/資料 34p-36p)

圏域マネージャーより

権利擁護部会より

地域移行部会より

## IV. その他

【令和7年度 第2回全体会 出席者名簿】

| 団 体                      |
|--------------------------|
| 高松市医師会(かがわ総合リハビリテーション病院) |
| 香川県東讃保健福祉事務所             |
| 香川県精神保健福祉センター            |
| 障害者生活支援センターたかまつ          |
| 障害者生活支援センターあい            |
| 相談支援センターリゅううん            |
| 地域生活支援センターこだま            |
| 香川県立川部みどり園               |
| 地域活動支援センタークリマ            |
| 障害者地域生活支援センターほっと         |
| 相談支援事業所 ライブサポートセンター      |
| 香川県立高松支援学校               |
| 香川県立香川中部支援学校             |
| 香川県立香川東部支援学校             |
| 香川県立聴覚支援学校               |
| 香川大学教育学部附属特別支援学校         |
| 高松公共職業安定所(専門援助部門)        |
| 障害者就業・生活支援センター共生         |
| 障害者就業・生活支援センターオリーブ       |
| 三木町 福祉介護課                |
| 直島町住民福祉課                 |
| 高松市健康づくり推進課              |
| 高松市総合教育センター              |
| 高松市障がい福祉課                |
| 香川県障害福祉相談所               |
| 一般社団法人garyu              |
| 高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点    |
| 社会福祉法人ナザレの村              |
| 一般社団法人ええる福祉会             |
| 特定非営利活動法人 自立ケアシステム香川     |
| 一般社団法人hito.toco          |
| 特定非営利活動法人アイルコート          |

# ①就労支援部会

報告：ヒトトコ

## R7年度報告及びR8年度計画

—R7年度就労支援部会—

<目標>

- ①各事業所の**情報共有**を図り、ネットワークを通じて**支援体制づくり**を図る。
- ②**企業に対する雇用率を上げる**ために就労支援部会でできることを明確にする。
- ③勉強会等を通し、**支援者の支援スキルアップ**を図る。

## R7年度報告及びR8年度計画

### —R7年度報告—

#### ○勉強会

- ・ 就労選択支援／SCC
- ・ 職業センターでの取り組み／職業センター

#### ○グループワーク

- ・ 事業所の困りごと
- ・ 企業開拓、企業への働きかけ、離職を防ぐための対策
- ・ 高次脳機能障害・難病の方の支援
- ・ 就労選択支援の在り方

#### <総括>

R7年度就労支援部会では、主に勉強会とグループワークをメインに実施しております。  
2か月に1回のペースで実施し、平均20～30名弱の方々の参加がありました。

## R7年度報告及びR8年度計画

### <実施内容>

#### ○障がい者雇用の受け入れ企業の増加を目指した取り組み方法を検討

- ・ 障がい者雇用の受け入れ企業の増加を目指し、啓発・広報などの働きかけを部会内で議論する

#### ○就労選択支援事業の情報共有及び就労選択支援の体制づくり

- ・ 就労選択支援の運用方法についての勉強会を実施し、知識を身に着ける
- ・ 就労支援部会の部会員同士で情報共有・情報交換を行ない、地域課題を明確にする
- ・ 就労選択支援について学校や行政機関も交えて具体的な方法やスケジュール等を検討していく

#### ○支援者の支援スキルの向上アップセミナーを実施

- ・ 支援者の支援スキルの向上を目指し、勉強会を実施。

(※勉強会の具体的な内容については部会内で検討する)

## ②精神保健福祉部会

報告：障害者地域生活支援センターほっと

### 医療と高齢者分野とピアサポーターとの連携について

#### (目的)

入院治療の必要がなくなったにもかかわらず、精神科病院に入院を余儀なくされている人が当たり前で退院し、地域で生活できる地域づくりを目指して活動する。併せて、地域で生活する疾病に罹患している人達が、疾病故に生じる問題から『地域での生活が困難である』などという誤った社会的な誤解や偏見が生じないよう、正しい病気に対する理解を促すと共に生きづらさを抱える人たちの支援を行なっていく。

(高松圏域自立支援協議会ホームページより抜粋)

#### (令和7年度の部会の取り組み)

- ①高松圏域内の支援者交流企画として、精神科医療機関、訪問介護ステーション、基幹相談 支援センター、特定・一般相談支援事業者、行政機関、ピアサポーターらが連携しやすい関係づくりのための企画（集合型交流会）
- ②高齢者分野のヘルパー職員向け研修の企画（令和7年11月）
- ③ピアサポート活動の推進に関する検討

## 医療と高齢者分野とピアサポーターとの連携について

### (令和7年度の取り組み)

2月ごとの部会においては、各委員会の報告や協議、合わせて精神科医療機関・部会メンバー間の情報交換等を実施し、その際、課題等があれば検討を実施。また、ピアサポーターやスーパーバイザー（精神保健福祉分野）の派遣についても活動報告・協議等を行う。

加えて、各委員会ごとに

- ①高松圏域内の医療機関に地域支援者（基幹相談支援センター・特定相談事業者・地域移行支援事業者・協議会委員等）が訪問して、連携しやすい関係づくりのための企画を4種案内し、医療機関の希望に合わせて連携企画を訪問型で実施
- ②高齢者分野ヘルパー職員との合同研修を11月に開催予定
- ③ピアサポート活動の推進に関する検討（協議会ホームページの更新と活用）

## ③相談支援事業所部会

報告：相談支援事業所ライブサポートセンター

## 令和7年度 上半期の部会活動 一報告一

- ・毎月1回 定例会、運営委員会（研修企画） 実施
- ・実施内容／GSV 3回、部会内研修 3回、GW 2回（適宜ミニGW）

### <部会内研修 3回>

- 4月 「GSVの基本的視点とプロセスの確認」
- 7月 「業務の効率化と運営について」
- 8月 「就労選択支援事業について」

### <GSV 3回>

- 5月 初回GSV（GSVの普及と継承に向けてファシリテーターとなる人材育成スタート）
- 6月 GSV（医療的ケアが必要な方々に関する事例）
- 9月 GSV（サブ・ファシリで役割交代して実施）

### <その他活動>

- ・令和7年4月「高松圏域相談支援事業所 相談支援専門員の在籍調査（R7.4付）」実施
- ・9月26日「高松圏域サービス等利用計画作成サポート研修(通称サビサポ)」実施
- ・去年度作成した「災害時緊急時を意識したアセスメントシート」の共有

## 令和7年度 下半期の部会活動 一計画一

- ① 毎月1回 定例会・運営委員会（研修企画）を実施
- ② 実施内容／部会内研修 3回、GW 1回、GSV 2回、適宜ミニGW
- ③ 部会内研修
  - 10月「教育と福祉の連携について①」
  - 12月「教育と福祉の連携について②」
  - 2月「共同体制について」
- ④ GW 1回（年度の振り返り）
- ⑤ GSV 2回

研修は、部会員の関心が高いテーマを中心に企画した。他の部会や分野のことなど、相互に理解を深める中で地域課題を共有し、関係づくりのきっかけとなるように引き続き取り組みたい。そして、地域のつながりを知り、相談支援事業のやりがいを感じられるようにしたい。

## ④身体障害者支援部会

報告：障害者生活支援センターたかまつ

### 令和7年度実績報告

#### ○日常生活用具のアンケート実施方法の検討

4月に高松市の日常生活用具担当者2名に部会に来てもらい、高松市の現状について意見交換。6月の部会で結果報告し、今年度アンケートどうするか検討。高松市に説得力のあるデータを示すには今年度難しいのでは？

⇒品目を絞り、スタンダードな物品を基準に福祉用具の業者に価格変動の推移を聞き取り実施。

⇒年明け以降、WGで検討していくことに。

#### ○今後の部会の在り方について検討

発展的解消に向けて運営会議で意見を出し、今年度でいったん終了となることが決まった。

#### ○身体障害者の地域課題、ニーズキャッチについて

中核、委託の2事業所で協議の場を持ち、どこでニーズキャッチしていくか検討予定。

## 令和7年度予定

部会は2か月に1回。(4・6・8・10・12・2月)

- ・日常生活用具給付の現状と課題を高松市担当者と共有(4/16)

命にかかわるところ、緊急性の高いもの、意見が多く出ている物品など、対象品目を絞って、スタンダードな物品の基準額の変動なども調べる必要あり。専門部会など強いところにも協力依頼必要では?⇒発電機、ベッド、マットレス、視覚障害、聴覚障害など。

- ・身体障害者のピアサポーター周知のチラシ作製
- ・防災について

高松市内の自治会で避難訓練盛んな地域に見学・身体障害者の受け入れ体制確認など。

### ⑤知的障害者支援部会



報告：地域生活支援センターこだま

## 当事者参加での部会を開催 (R7年9月19日)

### 【目的】

権利条約について勉強する中で、普段はことばで表現しづらい、当事者の思い（ニーズ）を知る。

### 【参加者】

当事者（ご家族含む）…7名 部会員…9名

### 【内容】

- ・ 障害者権利条約についての講義…条約の概要、「文化やスポーツを楽しむ権利」「自由に意見を言う権利」「分かりやすい情報」
- ・ フリートーク…生活の中で自分で選択しているもの

### 【感想】

- ・ 権利条約の講義が分かりやすくて良かった。講師と参加者がやり取りする場面が多く、楽しい雰囲気の中、理解を深めることが出来た。
- ・ フリートークで話が盛り上がり、時間が足りないほどだった。
- ・ 参加者が悩みを話すことが出来ていた。「自分の意見や気持ちを伝えても良い場所」と認識してもらえたのではないかな。

### 【次回開催に向けて】

- ・ フリートークで出た話題に関連するテーマを講義で行う。  
「自立と社会参加」…仕事、困った時の相談先 等
- ・ 重度の方の意見や思いをどう汲み取っていくか。
- ・ 次回、R7年11月7日 開催予定

## ⑥発達障害部会

報告：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

### 令和7年度上半期の取組み

昨年度の部会において協議されたことをもとに、若年者が活用しやすい情報発信の手法や内容について運営委員会、部会において検討し、「手に取りやすい」リーフレットを作成することとした。

#### ○カード式リーフレット

- ・デザインは学生が所持していても違和感のないものとする
- ・リーフレット内には“障がい”の文言を入れない
- ・詳しい内容はQRコードで自立支援協議会ホームページにリンク

## 令和7年度下半期の取組み

12月：リーフレットが完成

1月以降、サポート校を訪問し、リーフレットのPRを行う

※令和8年度以降、リーフレットの配布については、  
香川県発達障害者支援センターが主として行っていく予定。

## ⑦こども部会

報告：障がい者生活支援センターあい

## R7年度部会報告

・ますます児童の計画相談の依頼件数が増えている。さらに保育所等訪問のような制度の中で、学校、児童発達支援・放課後デイサービス事業所、相談支援事業所が対象の利用者によりよいサービスを提供するためには、お互いのことを理解することが重要である。

(具体案)

1. 児童発達支援・放課後等デイサービス事業所連絡会を実施する。
2. 連絡会で高松市総合教育センターの中村氏に教育機関側からの情報を提供してもらう予定。

## ⑧医療的ケア部会

報告：一般社団法人garyu

## 令和7年 前期の取り組み

★高松市の医療的ケア児の台帳作りに関しては、関係する課で、就園就学（小学校・幼稚園・保育園・こども園等）を目的に、台帳連絡会を開催した。

参加者：総合教育センター・障がい福祉課・保健センター・こども保育教育課・ソダテル・医ケア部会より3名（基幹相談支援センター）

内容：就園・就学を迎える児童人数の共有（0歳児から5歳児までの医ケア児の把握）  
高松市内において、どこまでの範囲に看護師を配置（派遣）しているかの、  
情報交換

## ★資質向上

- ・部会内で事例検討会を開催

→訪問看護師より2例の事例を出してもらい、部会内で検討した。地域看護の現状を知ることができた。ライフステージに応じた課題、患児だけではなく、家には家族もいるので、家族の課題というのを知ることができた。（地域生活における医ケア児の課題）

- ・医ケア児等コーディネーターフォローアップ研修

→後期に実施

実施に向け、講師を選定し、日程調整や内容の検討を行った。  
(12/8午後実施)

## ⑨居宅サービス事業所部会

報告：自立ケアシステム香川

### 居宅サービス事業所部会 上半期の振り返り

(上半期活動内容)

5月21日(水)9:30～11:30 第1回居宅サービス事業所部会

7月23日(水)9:30～11:30 第1回イベント

「居宅介護現場における高次脳機能障害への対応について」

9月17日(水)9:30～11:30 第2回居宅サービス事業所部会

(上半期の振り返り)

- 第1回イベント参加者26名(内、居宅介護事業所11名、部会員11名、実習生4名)
- 参加事業所13事業所(内、居宅介護:7事業所、部会員:6事業所)
- 第1回イベントは好評であったが参加率15%程度と低いことが課題となっている

## 居宅サービス事業所部会 下半期の目標

(下半期活動予定)

12月3日(水)9:30～11:30 第2回イベント

「大空へはばたこう～自立への挑戦～」上映会

12月17日(水)9:30～11:30 第3回居宅サービス事業所部会

2月25日(水)9:30～11:30 第3回イベント

「サービス内容の事業所格差について」

3月19日(水) 9:30～11:30 第4回居宅サービス事業所部会

(下半期の目標)

- 映画上映にて参加率を上げ居宅サービス事業所部会の活動を広める
- 映画上映：知的障害者が地域で自立生活する際の居宅介護事業所の役割を検討
- 第3回イベントでは事業所格差や医療的ケア(グレーゾーン)について検討

## ⑩当事者団体・家族会部会

報告：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

合理的配慮について周知啓発活動を実施していく

今年度の大きな目標としては、障がい者に対する合理的配慮について地域のイベントに参加して周知啓発を行っていきたい。

(上半期の活動内容)

1. 部会メンバーで合理的配慮の研修の実施
2. 8/29.30.31に開催されたナイスハートバザー in ゆめタウン高松に参加して合理的配慮とヘルプマークのチラシを配布した。

(下半期の活動予定)

12/5に開催される権利擁護部会主催の合理的配慮の研修に参加して合理的配慮とヘルプマークチラシを配布する予定。

## ⑪B型事業所部会

報告：社会福祉法人ナザレの村

## 利用者の方にとって有意義なB型事業所を増やしていくために

B型事業所に関しては、障がい者の一般就労や工賃向上を引き続き主要なテーマとして国が掲げている一方で、現場では利用者の方の重度化・高齢化がより進んでおり、様々な問題が山積している。障がい者の多様な、より豊かな働き方を実現していくために、事業所間での意見交換や情報共有を部会を通して活発に行い、有用なネットワークの構築を目指す。

令和7年10月より新たに実施された就労選択支援事業についての情報交換などを他部会や教育機関・就労支援機関とも綿密に行いながら連携し、障がい者の方が各ライフステージにおいてより豊かに、働きがいを持って仕事・作業に取り組めるディーセントワークに根ざした環境づくりを実施していく。

### (具体案)

#### 1. 事業所見学会の実施

見学対応可能な事業所を見聞することにより自分の事業所にも参考にして取り入れられそうなものを学び、お互いの困りごとを気軽に相談しながら解決していけるような顔の見える関係性づくりを目指す。



#### 2. 研修会（座談会）の実施

①現場支援者向け、②管理職向けの意見交換会を、それぞれ興味・関心のあるテーマを設定して実施し、情報共有を図ることにより様々な悩みや課題を解決しながら以降にも活かせるようなネットワークづくりを行う。



#### 3. 情報交換会の実施

より意見交換や相談がスピーディーにしやすい事業所間の関係づくりを目指していくために、懇親会を実施してみる。



## ⑫権利擁護部会

報告：障害福祉サービス事業所ええる

### 権利擁護に関する研修の企画及び実施と課題の抽出

#### 研修内容

- ・意思決定支援（基礎編） 7月18日（金）実施
- ・意思決定支援（実践編） 9月22日（月）実施
- ・障害者差別解消法勉強会 12月5日（金）実施予定（三木町防災センター）
- ・虐待防止研修 3月3日（火）実施予定

圏域の権利擁護意識が高まるような研修を企画し実施する。

差別解消法の研修については外部講師（弁護士）を招聘すると共に福祉事業者のみならず他事業の事業所、当事者にも声をかけて実施する。

各部会と連携を図りながら権利擁護に関する情報収集に努め、課題について検討する。

## ⑬ グループホーム部会

報告者：特定非営利活動法人アイルコート

### 令和7年度のグループホーム部会の活動

#### 【令和7年度の部会開催・予定状況】

- ・4/15：第1回GH交流会《管理者・サビ管向け》打ち合わせなど
- ・6/16：第1回グループホーム交流会（参加者：14名・10事業所）
- ・7/25：第1回交流会の振返りと次回の規格について
- ・9/5：第2回交流会《支援者向け》（参加者：27名・16事業所）
- ・11/11：第2回交流会の振返り・見学会について
- ・1月：グループホーム見学会予定
- ・2月：見学会の振返り、来年度に向けてなど

#### 【交流会を実施して】

- 今年度も上半期で2回の交流会を開催し、新たに参加する事業所も少しだが増加した。
- グループホーム特有の様々な課題が挙げられている。
- 課題として多いのは、「職員間の情報共有」、「研修機会の確保」、「人材確保」などが挙げられる。
- 年明けに事業所見学会を開催予定であり、新しい事業所の参加をより促していきたい。

## 令和 8 年度に向けて

- 孤立しがちなグループホーム事業所が横のつながりを作り、困ったときに支え合える体制を構築していく。
- 事業所同士が交流できる場を作り、多くの事業所がつながれるようにする。
- グループホーム事業特有の地域課題を取り上げ、地域・圏域で取り組んでいける体制を作っていきたい。

## ⑭ 事 務 局

報告：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

# R7年度上半期の報告

- 全体会を開催した。会場配置を検討し意見交換がしやすい配置としたこともあってか、普段、運営会議に参加していない会員との意見交換も促進されて良かった。
- R8年度の体制について各部会で協議を進めた。また、部会の再編についての提案が挙がり、運営会議で議論をすすめている。
- 3月以降の運営会議で挙げた課題を集約し、打ち合わせの会を通じて運営会議で整理した。そのうえで7月の運営会議にて、それまでに挙げてきた地域課題のうち、合理的配慮の啓発・教育と福祉の連携の2つについて、グループワークで課題の共有を行った。権利擁護部会、相談支援部会、こども部会等を中心に取り組みを協議している。
- 移動支援の在り方について、WGでの協議の成果を行政（高松市）への提言というかたちでおこなった。

## 高松圏域地域自立支援協議会の組織（検討中案）

